

社会資本総合整備計画 事後評価書

資料3-1

計画の名称	厚木市における安心・安全な下水道事業計画（防災・安全）		
計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）	交付対象	厚木市
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、多発する大雨や都市化に伴う雨水流出量の増加により浸水被害が発生しており、防災、減災のため、雨水管渠及び雨水貯留施設により被害解消を図る。</li> <li>・大規模地震時において、下水道の有する機能を維持するため、施設の耐震化を図り、地震被害の防災・減災を進める。</li> <li>・増え続ける下水道施設の老朽化対策について、これまでの維持管理から予防保全的維持管理へ手法を転換し、計画に基づき下水道施設の長寿命化を図る。</li> </ul>		

計画の成果目標（定量的指標）	<p>①下水道による都市浸水対策達成率を68.2%（H28当初）から69.0%（H32末）に増加させる。</p> <p>②厚木排水区における浸水被害軽減対策達成率を0%（H28当初）から60%（H32末）に実施する。</p> <p>③下水道総合地震対策計画における、管路施設、ポンプ施設の耐震対策及び減災計画の災害用トイレの整備実施する。</p> <p>④厚木市管渠長寿命化構想で検討した重要な下水道管路225kmのうち56kmの点検調査を実施する。</p> <p>⑤下水道ストックマネジメント計画の策定率を100%（H32末）にする。</p> <p>⑥厚木排水区長寿命化計画において計画した488.5mの改築工事を平成28年度末までに完了させる。</p> <p>⑦下水道総合地震対策計画の策定率を100%（H28末）にする。</p>
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)	
①下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（面積A=3292ha）	68% 計画 68% 実施	69% 計画 69% 実施	69% 計画 69% 実施	
②厚木排水区における浸水被害軽減対策達成率 実施した施設数/実施すべき施設数（施設数N=2施設）	0% 計画 0% 実施	45% 計画 0% 実施	60% 計画 62% 実施	
③下水道総合地震対策計画における耐震対策の達成率 耐震対策対応済みの箇所数/耐震対策対応すべき箇所数（N=161箇所）	0% 計画 0% 実施	80% 計画 26% 実施	80% 計画 73% 実施	
④重要な下水道管路における長寿命化率（点検、調査、診断） 点検調査済みの下水道管（延長）/点検すべき下水道管（延長L=225km）	18% 計画 18% 実施	33% 計画 29% 実施	43% 計画 37% 実施	
⑤下水道ストックマネジメント計画の策定率 策定された計画数/計画策定数	0% 計画 0% 実施	0% 計画 0% 実施	100% 計画 100% 実施	
⑥厚木排水区長寿命化計画における改築工事対応率 改築工事対応済みの合流管（延長）/改築工事対応すべき合流管（延長L=488.5m）	91% 計画 91% 実施	100% 計画 100% 実施	100% 計画 100% 実施	
⑦下水道総合地震対策計画の策定率 策定された計画数/地震対策の計画策定数	0% 計画 0% 実施	100% 計画 100% 実施	100% 計画 100% 実施	

全体事業費	合計 (A+B+C)	6,468 5,397	A	6,443 5,379	B	0 0	C	25 17.8	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.4% 0.3%
-------	---------------	----------------	---	----------------	---	--------	---	------------	---------------------------	--------------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
厚木市下水道運営審議会において実施。	事業終了後
	公表の方法
	厚木市ホームページ上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

上段： 計画  下段： 実績

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 下水道事業											事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H28	H29	H30	R1	R2		
A07-001	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	相模川右岸第12排水区雨水管	L= 0.89 km	厚木市						380.0	計画
									L= 0.46 km							251.2	実績
A07-002	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	相模川右岸第11-1排水区雨水管	L= 0.22 km	厚木市						97.0	計画
									L= 0.22 km							97.6	実績
A07-003	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	相模川右岸第6-1排水区雨水管	L= 0.38 km	厚木市						103.0	計画
									L= 0.32 km							103.9	実績
A07-004	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	相模川右岸第6排水区雨水管	L= 0.93 km	厚木市						262.0	計画
									L= 0.22 km							148.8	実績
A07-005	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	中津川右岸第2排水区雨水管	L= 0.55 km	厚木市						247.0	計画
									L= 0.06 km							147.6	実績
A07-006	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	小鮎川左岸第1排水区雨水管	L= 0.14 km	厚木市						68.0	計画
									L= 0.14 km							68.7	実績
A07-007	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	恩曾川左岸第12-2排水区雨水管	L= 0.47 km	厚木市						143.0	計画
									L= 0.22 km							98.3	実績
A07-008	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	恩曾川左岸第6排水区雨水管	L= 0.49 km	厚木市						45.0	計画
									基本・実施設計、土質調査							46.1	実績
A07-009	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	恩曾川左岸第2排水区雨水管	L= 0.21 km	厚木市						66.0	計画
									L= 0.21 km							66.3	実績
A07-010	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	荻野川左岸第3排水区雨水管	L= 0.13 km	厚木市						4.0	計画
									実施設計							4.1	実績
A07-011	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (合流)	新設	厚木排水区雨水貯留施設	雨水貯留施設27m×43m 貯留管φ2400 L=1.12km	厚木市						4,356.0	計画
									雨水貯留施設27m×43m 貯留管φ2400 L=1.13km							3,696.1	実績
A07-012	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (汚水)	改築	管渠施設長寿命化	調査・診断・計画策定	厚木市						120.0	計画
									ストックマネジメント計画策定 カメラ調査 L=43.9km							95.9	実績
A07-013	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (汚水)	改築	厚木排水区管路長寿命化	更新・改築 L=43.4m	厚木市						32.0	計画
									管きよ更生 L=9.9m 布設替え L=33.5m							35.2	実績
A07-014	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (汚水)	改築	下水道総合地震計画	計画策定、管更生、 大口径管更生、布設替え	厚木市						325.0	計画
									計画策定 一式 管きよ更生 L=277.9m 大口径管耐震診断 一式 可とう継手 N=80箇所 人孔浮上防止 N=2箇所 ポンプ場耐震化 N=1箇所 マンホール整備 N=34基							316.4	実績
A07-015	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	恩曾川左岸第7排水区雨水管	L= 0.24 km	厚木市						151.0	計画
									L= 0.17 km							158.5	実績
A07-016	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (雨水)	新設	渋田川第7排水区雨水管	L= 0.21 km	厚木市						44.0	計画
									L= 0.21 km							44.7	実績
合計																6,443.0	計画
合計																5,379.4	実績

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	進捗状況	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H28	H29	H30	R1	R2		
C07-001	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	-	-	下水道BCP	下水道BCP策定	厚木市						15.0	計画
									下水道BCP策定							6.4	実績
C07-002	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	-	-	災害用トイレ	マンホールトイレ上部構造	厚木市						10.0	計画
									N=34基							11.4	実績
											合計					25.0	計画
											合計					17.8	実績
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C07-002	下水道事業（A07-014）と一体的に実施することにより、下水道機能の代替となる災害時緊急対応を図る。																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

<p>I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>①下水道による都市浸水対策達成率 雨水管渠整備による浸水対策を実施し、都市浸水対策達成率の向上を図ることができ、目標値を達成した。</p> <p>②厚木排水区における浸水被害軽減達成率 雨水貯留施設及び雨水貯留管整備による浸水被害軽減対策を実施し、厚木排水区における浸水被害軽減達成率の向上を図ることができ、目標値を達成した。</p> <p>③耐震対策対応済みの箇所数/耐震対策対応すべき箇所数 下水道総合地震対策計画に基づき、下水道施設の耐震化を図った。また、広域避難場所及び指定避難所に計34基の災害用トイレを整備した。</p> <p>④重要な下水道管路における長寿命化率（点検、調査、診断） 重要な下水道管路における長寿命化率を37%まで増加させることができた。</p> <p>⑤下水道ストックマネジメント計画の策定率 令和2年度に下水道ストックマネジメント計画を策定した。</p> <p>⑥厚木排水区長寿命化計画における改築工事対応率 厚木排水区（合流）における、改築工事を完了することができた。</p> <p>⑦下水道総合地震対策計画の策定率 平成28年度に下水道総合地震対策計画を策定した。</p>
--	--

<p>II 定量的指標の達成状況</p>	<p>指標①（下水道による都市浸水対策達成率）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>69%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	
	<p>最終実績値</p>	<p>69%</p>			
	<p>指標②（厚木排水区における浸水被害軽減達成率）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>60%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	<p>防災・安全交付金を前倒して執行することができたため。</p>
	<p>最終実績値</p>	<p>62%</p>			
	<p>指標③（耐震対策対応済みの箇所数/耐震対策対応すべき箇所数）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>80%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	<p>概ね目標値を達成でき、下水道施設の耐震化を図り、地震被害の防災・減災を進めることができた。</p>
	<p>最終実績値</p>	<p>73%</p>			
	<p>指標④（重要な下水道管路における長寿命化率（点検、調査、診断））</p>	<p>最終目標値</p>	<p>43%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	<p>概ね目標値を達成することができた。</p>
	<p>最終実績値</p>	<p>37%</p>			
	<p>指標⑤（下水道ストックマネジメント計画の策定率）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>100%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	
	<p>最終実績値</p>	<p>100%</p>			
	<p>指標⑥（厚木排水区長寿命化計画における改築工事対応率）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>100%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	
	<p>最終実績値</p>	<p>100%</p>			
	<p>指標⑦（下水道総合地震対策計画の策定率）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>100%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	
	<p>最終実績値</p>	<p>100%</p>			

<p>III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）</p>	
--	--

<p>3. 特記事項（今後の方針等）</p> <p>近年の局地的集中豪雨等により、整備済み区域において、浸水被害が発生しているため、対策施設の検討及び整備を進めていく。          浸水被害が発生している雨水管渠未整備区域においても、次期社会資本総合整備計画に位置付け、継続的に整備を進めていく。          下水道施設の老朽化対策については、策定した下水道ストックマネジメント計画にもとづき、計画的かつ効率的に管理していく。          下水道施設の地震対策については、下水道の処理機能を確保し、緊急車両の通行など交通機能を確保するために必要な耐震化すべき施設が残っていることから引き続き地震対策を推進する。</p>
--